



# コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和3年9月3日  
NO. 59



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

## R3全国学力・学習状況調査結果 太中生の状況は？

5月に行われた全国学力・学習状況調査の結果を文部科学省が公表しました。知識を問う問題と知識を活用する問題が統合され出題された国語、数学では、新聞で報道されたように、調査開始以来連続で本県が全国トップクラスの成績であったことはご存知のことと思います。

秋田県では、12月の県学習状況調査、3月の高校入試、4月（今回は5月実施）の全国学力・学習状況調査を、学力向上における一連のサイクルとして捉えています。高校入試には、全国学力・学習状況調査の趣旨を踏まえた問題も出題されています。

では、本校の状況はというと・・・本校の学力調査結果の概要（平均正答率＝見える学力、教科への好意反応＝秘めた学力）は全国平均、全県平均を下回り、特に秋田県平均よりも5P以上低く、大きな課題を抱える結果となりました。上位層が少ないことに加え、正答数グラフでは2極化（ふたこぶらくだのような、山が二つあるグラフ）が見られ、個人差が大きいのが現状です。

下の表①は本校の正答率、表②は教科への意識調査のうち肯定的回答（好意反応）を全国平均、県平均と比較して、大きく上回るものを〇〇、上回るものを○、同程度のものを一、下回るものを●、大きく下回るものを●●で示したものです。

①	%	本校 正答率	県平均 との比較	全国平均 との比較
国語		63.0	●●	●
数学		51.0	●●	●●

②	%	本校 肯定回答	県平均 との比較	全国平均 との比較
国語		74.0	○	〇〇
数学		40.0	●●	●●

また、学力調査と並行して質問紙でのアンケート調査も行われています。その中で特筆すべき点は次のとおりです。

### 【国・県平均を上回る肯定的回答項目】

- ①自分の将来      ②挑戦心や根気強さ
- ③規範意識      ④学校生活
- ⑤地域や社会に関わる状況
- ⑥ICTを活用した学習状況

### 【国平均を上回るが県平均を下回る肯定的回答項目】

- ①自己有用感      ②生活習慣・学習習慣

### 【国・県平均を下回る肯定的回答項目】

- ①読書習慣      ②学習の発展・継続

本校の今年度の最重要目標の一つは「生徒の総合的学力（見える学力[学習成績]+秘めた学力[教科への意欲]の向上」、そして、「自尊感情・自己有用感の向上」です。その状況を分析・把握・改善への取組立案する材料の一つとして、この調査を活用することにしていますし、3年生だけの結果として捉えるのではなく、調査から見える傾向・課題を本校生徒の全体の傾向・課題と考えています。結果（学力調査結果+アンケート回答結果）を早急に分析を行い、良好な点をさらに伸ばしながら、よさや強みを課題となる点の改善につなげる計画を立て、全校生徒に対して、短期的には弱点回復指導を実施し、中・長期にわたっては授業や学校生活全般の中で改善の取組を実施しながら向上を目指していきます。

「結果が表れるから、もっとやる気が出て好きになる」場合や「好きなことには夢中になって工夫して打ち込むため、どんどん上達する」場合の両方があります。「結果」と「意欲」は、本校の最重要目標の改善への両輪となるものと捉えています。どちらが欠けても車は上手に走ることはできません。その両輪を伸ばし、現在見える向上の兆しを一層確かなものに、課題の改善に光を灯すために、全職員が子どもたちの可能性を信じ、「もっともっと」の気持ちをもって取り組んでまいります。

調査対象である3年生には個人票が配布されます。学校では、自分の弱点についてしっかり把握させ、改善への努力を支援してまいります。子どもたち一人一人状況は違います。個人の詳しい状況については、保護者の皆様も個人票をご覧になり、振り返り、助言や励ましをお願いいたします。